

その他の土木工事業におけるその他の用具を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14~15	1番ティーにて枕木を設置している時に、枕木と枕木を連結固定するのにカスガイ（又釘）をハンマー（石頭）にて打設していた所、打設したカスガイが跳ねて眼に飛んできたカスガイの鋭利な部分が左眼球に当たり、眼球が破れて凹んだ。	32~29	10
1	13~14	砂利プラントにおいて構造物の型枠が終了したので、生コンクリートをホッパーにて打設していた。ホッパー内のコンクリート投入が終わったので底扉を閉めるために開閉バーを操作し固定しようとしたが、コンクリートが挟まっていたため、2~3回前後にしゃくった後に勢いをつけて強く押して固定しようとした。その際、通常はにぎらない位置にあった左手小指を、固定用の鉄板の角にはさまれ負傷した。	48~99	50
3	10~11	ヤードでコンクリートガラの破碎中、高さ30センチのロープに右足をひっかけ、右膝をコンクリートにぶつけた。	50~29	10
4	12~13	現場でコンクリート打設中、小手で均し作業中、型枠に指をぶつけた。	22~9	1
6	9~10	草刈り作業の為に、作業現場に到着し、車両の荷台に乗って、作業用具の積み下ろしを行っていた際、荷台の上で用具に躓いてしまい、体のバランスを崩し転倒してしまい、その際に荷台の一部に右肩を強くぶつけ負傷したものである。尚、当日は痛みがあったものの、そのまま作業を続け、翌日に痛みが増した。	18~29	10
7	17~18	会社の倉庫に置いたトラックの上でパレットを積んでいるときに、パレットが何かのはずみで跳ね返り、パレットとパレットの間に足が挟まり転倒し、左足じん帯を	51~	10

		損傷した。その後の診断で骨折が判明した。		29
7	10~11	深さ25mの立坑内にある人孔築造工事の現場にて2人で測量中、被災者も測量作業のために梯子を降り現場に向かっていた。約10m地点の4段目踊り場にて、安全帯から安全ブロックを取り外す際にめまいを起こし、安全ブロックのワイヤーが首に巻き付き擦れるように外れた。	40	10 ~ 29
7	9~10	処分場法面工事場において、吹付前準備作業（スペーサ・水板パイプ・目地材設置）の際、親綱にロリップを取り付け、法面（法長5m）に下りようとした。法肩から1m位下がった時に親綱が外れ、墜落した。腰椎圧迫骨折・骨盤にひびが入った。	34	10 ~ 29
9	9~10	ガス導管敷設工事の現場で、規制帯設置後、4tダンプトラックを規制帯に入場させ、定位置につけた後、運転手が4tダンプトラックから降車しようとして、ドア付近にあったカラーコーンに気付かず、つまずき転倒した。	40	50 ~ 99
11	15~16	自社、土場整理の為、コンパネを片付けていたが、足元を滑らせコンパネの角に胸を打ちつけた。胸が激しく痛んだが、休憩後、作業を続けた。2日間は胸が痛んだが、出勤し仕事をした。その後、腕が上がらなくなり、胸の痛みもあったので、仕事を休んだ。	69	30 ~ 49
11	9~10	自社墓石展示場内において、展示場内の墓石の組替え作業中、石材クランプで石を吊り上げ終わり、石からクランプを外そうとした時、安全フックが外れてしまいクランプが急に閉じようとしたため、石に当たるといけないと思い手でクランプを押さえた際、クランプに左手を挟み負傷したものである。	50	1 ~ 9
12	0~1	雪見パトロール時に降雪状況の写真撮影のため、黒板を持っていた所、黒板が風にあおられ、左足にあたり転倒した。	42	30 ~ 49
12	14~15	道路パトロールの業務中、主要地方道の集水枡につまった草木を除去する為に枡蓋を取り外す際に蓋とアスファルトの間に指をはさみ負傷した。	32	—

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html